

# 令和 6 年度 病院事業決算状況

都道府県名 宮城県

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ			
-	精神医療センター（地方独立 行政法人宮城県立病院機構）	2	大崎市	大崎市民病院鹿島台分院	20
-	がんセンター（地方独立行政 法人宮城県立病院機構）	3	蔵王町	蔵王町国民健康保険蔵王病院	21
-	こども病院（地方独立行政法 人宮城県立こども病院）	4	川崎町	国民健康保険川崎病院	22
仙台市	市立病院	5	丸森町	丸森町国民健康保険丸森病院	23
石巻市	石巻市立病院	6	涌谷町	涌谷町国民健康保険病院	24
石巻市	石巻市立牡鹿病院	7	美里町	美里町立南郷病院	25
塩竈市	塩竈市立病院	8	女川町	女川町立病院	26
気仙沼市	気仙沼市立病院	9	南三陸町	南三陸病院	27
白石市	公立刈田総合病院	10	黒川地域行政事務組合	公立黒川病院	28
登米市	登米市立登米市民病院	11	加美郡保健医療福祉行政 事務組合	公立加美病院	29
登米市	登米市立米谷病院	12	みやぎ県南中核病院企業 団	みやぎ県南中核病院	30
登米市	登米市立豊里病院	13			
栗原市	栗原市立栗原中央病院	14			
栗原市	栗原市立若柳病院	15			
栗原市	栗原市立栗駒病院	16			
大崎市	大崎市民病院	17			
大崎市	大崎市民病院鳴子温泉分院	18			
大崎市	大崎市民病院岩出山分院	19			

<b>病院事業決算状況(令和6年度)</b>		都道府県名	
		宮城県	
市町村・組合名			
病院名 精神医療センター(地方独立行政法人宮城県立病院機構)			
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,301,996	
決算規模(千円)	997,507,909	
標準財政規模(千円)	495,008,192	
財政力指数	0.60728	
経常収支比率(%)	95.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.0
	将来負担比率(%)	130.8

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,559			
1 経常収益	3,559			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	3,559			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,559			
2 経常費用	3,559			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	108.5
材料費	-	-	27.1	9.4
(うち薬品費)	-	-	14.8	6.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	1.4
減価償却費	-	-	8.6	12.6
経費	-	-	22.0	34.8
(うち委託料)	-	-	11.8	15.4
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	3,559			
(うち支払利息)	3,559	-	0.9	2.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		93.0	95.5
医業収支比率	-		83.9	60.3
修正医業収支比率	-		81.0	57.7
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.2	35.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	58.4
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	35.3
実質収益対経常費用比率	100.0		81.6	61.5

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和6年度)</b>		都道府県名	
		宮城県	
市町村・組合名			
病院名 がんセンター(地方独立行政法人宮城県立病院機構)			
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,301,996	
決算規模(千円)	997,507,909	
標準財政規模(千円)	495,008,192	
財政力指数	0.60728	
経常収支比率(%)	95.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.0
	将来負担比率(%)	130.8

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,277			
1 経常収益	7,277			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	7,277			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,277			
2 経常費用	7,277			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	61.3
材料費	-	-	27.1	26.2
(うち薬品費)	-	-	14.8	14.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	11.2
減価償却費	-	-	8.6	8.5
経費	-	-	22.0	21.8
(うち委託料)	-	-	11.8	11.9
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	7,277			
(うち支払利息)	7,277	-	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		93.0	92.2
医業収支比率	-		83.9	84.6
修正医業収支比率	-		81.0	81.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.2	10.8
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	12.4
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	10.7
実質収益対経常費用比率	100.0		81.6	82.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和6年度)</b>		都道府県名 宮城県	
市町村・組合名			
病院名	こども病院(地方独立行政法人宮城県立こども病院)		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,301,996	
決算規模(千円)	997,507,909	
標準財政規模(千円)	495,008,192	
財政力指数	0.60728	
経常収支比率(%)	95.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.0
	将来負担比率(%)	130.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	56,959			
1 経常収益	56,959			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	56,959			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	56,959			
2 経常費用	56,959			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	69.3
材料費	-	-	27.1	18.4
(うち薬品費)	-	-	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.1
減価償却費	-	-	8.6	10.8
経費	-	-	22.0	29.9
(うち委託料)	-	-	11.8	13.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	56,959			
(うち支払利息)	56,959	-	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		93.0	91.6
医業収支比率	-		83.9	77.4
修正医業収支比率	-		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	100.0		81.6	75.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	仙台市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透し未訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	52,286 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	26	指定病院の状況	救臨感災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	467	81.0	82.4	80.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	50	39.3	28.8	21.2
感染症	8	0.7	59.8	92.0
計	525	75.8	76.9	74.6
平均在院日数(一般病床のみ)		8.6	9.0	9.4

設立団体の状況		
人口(人)	1,096,704	
決算規模(千円)	616,736,747	
標準財政規模(千円)	299,118,178	
財政力指数	0.87	
経常収支比率(%)	98.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.9
	将来負担比率(%)	44.6

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	19,556,335				
1 経常収益	19,511,923				
(1) 医業収益	18,101,130				
(うち修正医業収益)	17,134,836				
入院収益	12,309,543				
外来収益	4,642,401				
診療収入計	16,951,944				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	1,149,186				
(うち他会計負担金)	966,294				
(2) 医業外収益	1,410,793				
(うち国・都道府県補助金)	69,014				
(うち他会計補助・負担金)	982,585				
(うち長期前受金戻入)	136,790				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	44,412				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	21,344,644				
2 経常費用	21,182,251				
(1) 医業費用	20,106,329				
職員給与費	10,708,044	59.2	60.8	53.3	
材料費	4,718,051	26.1	27.1	33.0	
(うち薬品費)	2,173,835	12.0	14.8	18.6	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,544,216	14.1	11.8	14.1	
減価償却費	1,440,732	8.0	8.6	7.4	
経費	3,149,742	17.4	22.0	17.2	
(うち委託料)	2,235,159	12.3	11.8	10.2	
研究研修費	78,501				
資産減耗費	11,259				
(2) 医業外費用	1,075,922				
(うち支払利息)	222,704	1.2	0.9	0.7	
(3) 特別損失	162,393				
経常損益	-1,670,328				
純損益	-1,788,309				
累積欠損金	10,090,575				
経常収支比率	92.1		93.0	94.3	
医業収支比率	90.0		83.9	89.6	
修正医業収支比率	85.2		81.0	87.6	
他会計繰入金対経常収益比率	10.0		12.2	7.6	
他会計繰入金対医業収益比率	10.8		14.3	8.5	
他会計繰入金対総収益比率	10.0		12.3	7.6	
実質収益対経常費用比率	82.9		81.6	87.1	

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	34,859,292
1 固定資産	23,911,046
(1) 有形固定資産	23,502,359
(2) 無形固定資産	408,687
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	10,948,246
(1) 現金及び預金	8,143,975
(2) 未収金及び未収収益	2,710,970
(3) 貸倒引当金( )	10,200
(4) 貯蔵品	103,141
3 繰延資産	-
負債合計	27,087,749
1 固定負債	21,626,261
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	18,337,459
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	3,288,802
(6) リース債務	-
2 流動負債	4,287,925
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,455,586
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	592,360
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,223,476
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,173,563
(1) 長期前受金	2,436,578
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,263,015
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	7,771,543
1 資本金	17,862,118
2 剰余金	-10,090,575
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-10,090,575
負債・資本合計	34,859,292
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,903,229	1,948,879
資本勘定繰入	699,057	908,492
計	2,602,286	2,857,371

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	55.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		宮城県	
市町村・組合名	石巻市		
病院名	石巻市立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	23,921 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	12	指定病院の状況	救 感 輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	140	84.9	79.0	71.1
療養	40	91.2	84.8	79.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	180	86.3	80.3	72.9
平均在院日数(一般病床のみ)		17.0	16.5	15.3

設立団体の状況		
人口(人)	140,151	
決算規模(千円)	82,286,870	
標準財政規模(千円)	40,043,067	
財政力指数	0.53	
経常収支比率(%)	99.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.2
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,301,313			
1 経常収益	4,218,596			
(1) 医業収益	3,119,724			
(うち修正医業収益)	2,935,331			
入院収益	2,168,866			
外来収益	642,442			
診療収入計	2,811,308			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	308,416			
(うち他会計負担金)	184,393			
(2) 医業外収益	1,098,872			
(うち国・都道府県補助金)	3,053			
(うち他会計補助・負担金)	505,746			
(うち長期前受金戻入)	542,074			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	82,717			
(うち他会計繰入金)	82,000			
総費用	4,635,810			
2 経常費用	4,625,480			
(1) 医業費用	4,468,957			
職員給与費	2,174,404	69.7	60.8	69.3
材料費	528,610	16.9	27.1	18.4
(うち薬品費)	200,621	6.4	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	327,989	10.5	11.8	9.1
減価償却費	617,319	19.8	8.6	10.8
経費	1,136,881	36.4	22.0	29.9
(うち委託料)	656,346	21.0	11.8	13.7
研究研修費	10,031			
資産減耗費	1,712			
(2) 医業外費用	156,523			
(うち支払利息)	3,084	0.1	0.9	1.0
(3) 特別損失	10,330			
経常損益	-406,884			
純損益	-334,497			
累積欠損金	738,767			
経常収支比率	91.2		93.0	91.6
医業収支比率	69.8		83.9	77.4
修正医業収支比率	65.7		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	16.4		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	22.1		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	18.0		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	76.3		81.6	75.4

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	10,279,602
1 固定資産	9,171,169
(1) 有形固定資産	9,171,169
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,108,433
(1) 現金及び預金	224,894
(2) 未収金及び未収収益	637,371
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	46,168
3 繰延資産	-
負債合計	9,791,987
1 固定負債	700,301
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	700,301
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	861,521
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	102,808
(2) その他の企業債	60,000
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	174,252
(6) リース債務	3,089
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	318,747
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	8,230,165
(1) 長期前受金	16,473,970
(2) 長期前受金収益化累計額( )	8,243,805
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	487,615
1 本金	1,696,094
2 剰余金	-1,208,479
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,208,479
負債・資本合計	10,279,602
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	533,142	772,139
資本勘定繰入	40,701	81,401
計	573,843	853,540

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	35.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	石巻市				
病院名	石巻市立牡鹿病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,588 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	3	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	その他		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	25	27.6	47.6	35.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	25	27.6	47.6	35.9
平均在院日数(一般病床のみ)		29.3	29.3	27.2

設立団体の状況	
人口(人)	140,151
決算規模(千円)	82,286,870
標準財政規模(千円)	40,043,067
財政力指数	0.53
経常収支比率(%)	99.8
健全化判断比率	-
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	6.2
将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	496,167			
1 経常収益	495,461			
(1) 医業収益	255,699			
(うち修正医業収益)	175,278			
入院収益	30,812			
外来収益	130,889			
診療収入計	161,701			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	93,998			
(うち他会計負担金)	80,421			
(2) 医業外収益	239,762			
(うち国・都道府県補助金)	87,661			
(うち他会計補助・負担金)	104,796			
(うち長期前受金戻入)	34,320			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	706			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	572,589			
2 経常費用	572,589			
(1) 医業費用	554,152			
職員給与費	303,961	118.9	60.8	92.5
材料費	77,169	30.2	27.1	14.2
(うち薬品費)	232	0.1	14.8	7.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	76,176	29.8	11.8	5.8
減価償却費	45,314	17.7	8.6	13.4
経費	126,773	49.6	22.0	47.6
(うち委託料)	67,876	26.5	11.8	23.6
研究研修費	806			
資産減耗費	129			
(2) 医業外費用	18,437			
(うち支払利息)	299	0.1	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損失	-77,128			
純損失	-76,422			
累積欠損金	469,712			
経常収支比率	86.5		93.0	95.6
医業収支比率	46.1		83.9	59.3
修正医業収支比率	31.6		81.0	54.4
他会計繰入金対経常収益比率	37.4		12.2	36.9
他会計繰入金対医業収益比率	72.4		14.3	63.1
他会計繰入金対総収益比率	37.3		12.3	36.8
実質収益対経常費用比率	54.2		81.6	60.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	10,279,602
1 固定資産	9,171,169
(1) 有形固定資産	9,171,169
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,108,433
(1) 現金及び預金	224,894
(2) 未収金及び未収収益	637,371
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	46,168
3 繰延資産	-
負債合計	9,791,987
1 固定負債	700,301
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	700,301
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	861,521
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	102,808
(2) その他の企業債	60,000
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	174,252
(6) リース債務	3,089
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	318,747
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	8,230,165
(1) 長期前受金	16,473,970
(2) 長期前受金収益化累計額( )	8,243,805
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	487,615
1 本金	1,696,094
2 剰余金	-1,208,479
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,208,479
負債・資本合計	10,279,602
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	167,887	185,217
資本勘定繰入	6,644	13,290
計	174,531	198,507

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	35.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	塩竈市				
病院名	塩竈市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	10,495 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	22	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	161	70.7	70.9	72.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	161	70.7	70.9	72.2
平均在院日数(一般病床のみ)		15.0	14.0	14.0

設立団体の状況		
人口(人)	52,203	
決算規模(千円)	29,665,963	
標準財政規模(千円)	12,827,612	
財政力指数	0.52	
経常収支比率(%)	98.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.6
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用	全国平均	類似平均	
総収益	3,011,950				
1 経常収益	3,011,683				
(1) 医業収益	2,649,947				
(うち修正医業収益)	2,453,062				
入院収益	1,578,713				
外来収益	718,679				
診療収入計	2,297,392				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	352,555				
(うち他会計負担金)	196,885				
(2) 医業外収益	361,736				
(うち国・都道府県補助金)	2,303				
(うち他会計補助・負担金)	218,625				
(うち長期前受金戻入)	124,275				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	267				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	3,154,795				
2 経常費用	3,152,824				
(1) 医業費用	3,057,329				
職員給与費	1,883,903	71.1	60.8	69.3	
材料費	405,184	15.3	27.1	18.4	
(うち薬品費)	210,853	8.0	14.8	8.7	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	162,719	6.1	11.8	9.1	
減価償却費	174,758	6.6	8.6	10.8	
経費	589,031	22.2	22.0	29.9	
(うち委託料)	315,971	11.9	11.8	13.7	
研究研修費	3,883				
資産減耗費	570				
(2) 医業外費用	95,495				
(うち支払利息)	2,626	0.1	0.9	1.0	
(3) 特別損失	1,971				
経常損益	-141,141				
純損益	-142,845				
累積欠損金	3,347,422				
経常収支比率	95.5		93.0	91.6	
医業収支比率	86.7		83.9	77.4	
修正医業収支比率	80.2		81.0	73.2	
他会計繰入金対経常収益比率	13.8		12.2	17.7	
他会計繰入金対医業収益比率	15.7		14.3	22.2	
他会計繰入金対総収益比率	13.8		12.3	17.9	
実質収益対経常費用比率	82.3		81.6	75.4	

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,999,314
1 固定資産	1,496,802
(1) 有形固定資産	1,496,656
(2) 無形固定資産	146
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	502,512
(1) 現金及び預金	88,984
(2) 未収金及び未収収益	404,003
(3) 貸倒引当金( )	381
(4) 貯蔵品	9,906
3 繰延資産	-
負債合計	1,741,191
1 固定負債	655,556
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	655,556
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	560,893
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	216,059
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	84,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	258,576
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	524,742
(1) 長期前受金	1,283,603
(2) 長期前受金収益化累計額( )	758,861
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	258,123
1 資本金	3,593,643
2 剰余金	-3,335,520
(1) 資本剰余金	11,902
(2) 利益剰余金	-3,347,422
負債・資本合計	1,999,314
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	367,138	415,510
資本勘定繰入	79,242	85,471
計	446,380	500,981

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	126.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		宮城県	
市町村・組合名	気仙沼市		
病院名	気仙沼市立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓カ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	26,908 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第1種該当
診療科数	20	指定病院の状況	救臨感災
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	336	82.7	78.0	71.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	27.3	31.8	30.8
計	340	82.1	77.4	71.3
平均在院日数(一般病床のみ)		12.7	12.9	11.7

設立団体の状況		
人口(人)	61,147	
決算規模(千円)	48,933,434	
標準財政規模(千円)	18,962,141	
財政力指数	0.45	
経常収支比率(%)	102.2	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.1
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,668,424			
1 経常収益	10,667,903			
(1) 医業収益	9,016,358			
(うち修正医業収益)	8,718,792			
入院収益	5,063,403			
外来収益	3,548,995			
診療収入計	8,612,398			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	403,960			
(うち他会計負担金)	297,566			
(2) 医業外収益	1,651,545			
(うち国・都道府県補助金)	16,489			
(うち他会計補助・負担金)	856,396			
(うち長期前受金戻入)	708,055			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	521			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,434,847			
2 経常費用	11,433,100			
(1) 医業費用	10,819,159			
職員給与費	5,204,356	57.7	60.8	61.3
材料費	2,012,129	22.3	27.1	26.2
(うち薬品費)	1,279,624	14.2	14.8	14.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	731,047	8.1	11.8	11.2
減価償却費	955,509	10.6	8.6	8.5
経費	2,618,810	29.0	22.0	21.8
(うち委託料)	1,369,445	15.2	11.8	11.9
研究研修費	14,976			
資産減耗費	13,379			
(2) 医業外費用	613,941			
(うち支払利息)	21,230	0.2	0.9	0.9
(3) 特別損失	1,747			
経常損益	-765,197			
純損益	-766,423			
累積欠損金	7,199,970			
経常収支比率	93.3		93.0	92.2
医業収支比率	83.3		83.9	84.6
修正医業収支比率	80.6		81.0	81.8
他会計繰入金対経常収益比率	10.8		12.2	10.8
他会計繰入金対医業収益比率	12.8		14.3	12.4
他会計繰入金対総収益比率	10.8		12.3	10.7
実質収益対経常費用比率	83.2		81.6	82.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	18,162,325
1 固定資産	14,660,434
(1) 有形固定資産	12,999,656
(2) 無形固定資産	10,698
(3) 投資その他の資産	1,650,080
2 流動資産	3,501,891
(1) 現金及び預金	2,081,106
(2) 未収金及び未収収益	1,271,656
(3) 貸倒引当金( )	2,717
(4) 貯蔵品	151,846
3 繰延資産	-
負債合計	14,207,114
1 固定負債	2,725,587
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,670,339
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	26,229
(6) リース債務	29,019
2 流動負債	1,152,150
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	126,994
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	419,407
(6) リース債務	9,673
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	587,481
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	10,329,377
(1) 長期前受金	17,936,276
(2) 長期前受金収益化累計額( )	7,606,899
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	3,955,211
1 本金	10,978,281
2 剰余金	-7,023,070
(1) 資本剰余金	176,900
(2) 利益剰余金	-7,199,970
負債・資本合計	18,162,325
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,151,167	1,153,962
資本勘定繰入	137,086	151,186
計	1,288,253	1,305,148

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	79.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和6年度)</b>		都道府県名	
		宮城県	
市町村・組合名	白石市		
病院名	公立刈田総合病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	26,164 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	14	指定病院の状況	救災輪
許可公営企業	許可	看護配置	10:1
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	199	66.2	56.9	43.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	87.8
計	199	66.2	56.9	43.1
平均在院日数(一般病床のみ)		23.9	23.9	23.8

設立団体の状況		
人口(人)	32,758	
決算規模(千円)	18,602,674	
標準財政規模(千円)	9,890,184	
財政力指数	0.50	
経常収支比率(%)	92.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	717,069			
1 経常収益	716,195			
(1) 医業収益	134,236			
(うち修正医業収益)	3,472			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	134,236			
(うち他会計負担金)	130,764			
(2) 医業外収益	581,959			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	565,427			
(うち長期前受金戻入)	15,855			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	874			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	732,279			
2 経常費用	726,610			
(1) 医業費用	629,887			
職員給与費	23,697	17.7	60.8	69.3
材料費	-	-	27.1	18.4
(うち薬品費)	-	-	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.1
減価償却費	231,841	172.7	8.6	10.8
経費	366,652	273.1	22.0	29.9
(うち委託料)	94,381	70.3	11.8	13.7
研究研修費	-			
資産減耗費	7,697			
(2) 医業外費用	96,723			
(うち支払利息)	85,579	63.8	0.9	1.0
(3) 特別損失	5,669			
経常損	-10,415			
純損	-15,210			
累積欠損金	17,185,676			
経常収支比率	98.6		93.0	91.6
医業収支比率	21.3		83.9	77.4
修正医業収支比率	0.6		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	97.2		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	518.6		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	97.1		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	2.8		81.6	75.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	4,866,712
1 固定資産	4,482,069
(1) 有形固定資産	4,480,040
(2) 無形固定資産	2,029
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	384,643
(1) 現金及び預金	342,039
(2) 未収金及び未収収益	42,604
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	5,562,219
1 固定負債	4,388,606
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,401,899
(2) その他の企業債	986,707
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	702,641
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	561,315
(2) その他の企業債	103,700
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,286
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	15,431
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	470,972
(1) 長期前受金	1,237,864
(2) 長期前受金収益化累計額( )	766,892
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-695,507
1 資本金	16,460,379
2 剰余金	-17,155,886
(1) 資本剰余金	1,050
(2) 利益剰余金	-17,156,936
負債・資本合計	4,866,712
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	695,507
資本不足額(繰延収益控除後)( )	224,535
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	250,549	696,191
資本勘定繰入	356,812	418,411
計	607,361	1,114,602

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	12802.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	743,390
地財法上の資金不足比率(%)	553.7

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		宮城県	
市町村・組合名	登米市		
病院名	登米市立登米市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	18,796 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	17	指定病院の状況	救臨 災 輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	198	80.8	76.0	74.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	198	80.8	76.0	74.6
平均在院日数(一般病床のみ)		17.7	18.5	17.8

設立団体の状況		
人口(人)	76,037	
決算規模(千円)	45,707,885	
標準財政規模(千円)	26,872,812	
財政力指数	0.36	
経常収支比率(%)	97.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.8
	将来負担比率(%)	60.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,133,384			
1 経常収益	5,115,305			
(1) 医業収益	4,413,315			
(うち修正医業収益)	3,965,462			
入院収益	2,520,751			
外来収益	1,311,898			
診療収入計	3,832,649			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	580,666			
(うち他会計負担金)	447,853			
(2) 医業外収益	701,990			
(うち国・都道府県補助金)	11,104			
(うち他会計補助・負担金)	387,758			
(うち長期前受金戻入)	278,450			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	18,079			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,318,999			
2 経常費用	5,318,999			
(1) 医業費用	5,150,233			
職員給与費	3,046,502	69.0	60.8	69.3
材料費	555,861	12.6	27.1	18.4
(うち薬品費)	253,480	5.7	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	299,550	6.8	11.8	9.1
減価償却費	404,895	9.2	8.6	10.8
経費	1,130,907	25.6	22.0	29.9
(うち委託料)	595,607	13.5	11.8	13.7
研究研修費	9,918			
資産減耗費	2,150			
(2) 医業外費用	168,766			
(うち支払利息)	5,429	0.1	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-203,694			
純損益	-185,615			
累積欠損金	11,750,969			
経常収支比率	96.2		93.0	91.6
医業収支比率	85.7		83.9	77.4
修正医業収支比率	77.0		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	16.3		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	18.9		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	16.3		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	80.5		81.6	75.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	10,283,046
1 固定資産	8,790,094
(1) 有形固定資産	8,526,772
(2) 無形固定資産	1,288
(3) 投資その他の資産	262,034
2 流動資産	1,492,952
(1) 現金及び預金	588,078
(2) 未収金及び未収収益	875,574
(3) 貸倒引当金( )	10,703
(4) 貯蔵品	37,633
3 繰延資産	-
負債合計	10,150,771
1 固定負債	7,472,509
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,599,938
(2) その他の企業債	155,392
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	300,000
(5) 引当金	2,417,179
(6) リース債務	-
2 流動負債	1,494,163
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	503,450
(2) その他の企業債	15,370
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	295,132
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	200,000
(8) 未払金及び未払費用	379,126
(9) 前受金及び前受収益	93,103
3 繰延収益	1,184,099
(1) 長期前受金	3,791,843
(2) 長期前受金収益化累計額( )	2,607,744
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	132,275
1 資本金	16,623,537
2 剰余金	-16,491,262
(1) 資本剰余金	118,157
(2) 利益剰余金	-16,609,419
負債・資本合計	10,283,046
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	835,611	835,611
資本勘定繰入	199,655	317,340
計	1,035,266	1,152,951

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	270.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	登米市				
病院名	登米市立米谷病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,823 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	40	53.0	57.3	55.5
療養	50	65.3	67.6	63.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	59.8	63.0	59.7
平均在院日数(一般病床のみ)		23.1	22.2	22.9

設立団体の状況		
人口(人)	76,037	
決算規模(千円)	45,707,885	
標準財政規模(千円)	26,872,812	
財政力指数	0.36	
経常収支比率(%)	97.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.8
	将来負担比率(%)	60.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,084,440			
1 経常収益	1,083,153			
(1) 医業収益	830,081			
(うち修正医業収益)	744,788			
入院収益	491,897			
外来収益	186,460			
診療収入計	678,357			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	151,724			
(うち他会計負担金)	85,293			
(2) 医業外収益	253,072			
(うち国・都道府県補助金)	752			
(うち他会計補助・負担金)	193,790			
(うち長期前受金戻入)	52,319			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,287			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,513,887			
2 経常費用	1,513,887			
(1) 医業費用	1,442,169			
職員給与費	844,711	101.8	60.8	82.0
材料費	85,579	10.3	27.1	14.2
(うち薬品費)	42,745	5.1	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	40,924	4.9	11.8	6.1
減価償却費	206,189	24.8	8.6	12.5
経費	303,889	36.6	22.0	34.4
(うち委託料)	158,214	19.1	11.8	16.9
研究研修費	1,746			
資産減耗費	55			
(2) 医業外費用	71,718			
(うち支払利息)	14,311	1.7	0.9	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損益	-430,734			
純損益	-429,447			
累積欠損金	3,612,369			
経常収支比率	71.5		93.0	93.1
医業収支比率	57.6		83.9	69.6
修正医業収支比率	51.6		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	25.8		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	33.6		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	25.7		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	53.1		81.6	68.2

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	10,283,046
1 固定資産	8,790,094
(1) 有形固定資産	8,526,772
(2) 無形固定資産	1,288
(3) 投資その他の資産	262,034
2 流動資産	1,492,952
(1) 現金及び預金	588,078
(2) 未収金及び未収収益	875,574
(3) 貸倒引当金( )	10,703
(4) 貯蔵品	37,633
3 繰延資産	-
負債合計	10,150,771
1 固定負債	7,472,509
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,599,938
(2) その他の企業債	155,392
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	300,000
(5) 引当金	2,417,179
(6) リース債務	-
2 流動負債	1,494,163
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	503,450
(2) その他の企業債	15,370
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	295,132
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	200,000
(8) 未払金及び未払費用	379,126
(9) 前受金及び前受収益	93,103
3 繰延収益	1,184,099
(1) 長期前受金	3,791,843
(2) 長期前受金収益化累計額( )	2,607,744
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	132,275
1 本金	16,623,537
2 剰余金	-16,491,262
(1) 資本剰余金	118,157
(2) 利益剰余金	-16,609,419
負債・資本合計	10,283,046
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	279,083	279,083
資本勘定繰入	204,701	261,837
計	483,784	540,920

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	270.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	登米市				
病院名	登米市立豊里病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,119 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	10	指定病院の状況	輸		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輸...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	60	55.6	58.7	53.0
療養	30	87.6	89.4	97.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	66.3	68.9	67.6
平均在院日数(一般病床のみ)		28.6	28.6	28.8

設立団体の状況		
人口(人)	76,037	
決算規模(千円)	45,707,885	
標準財政規模(千円)	26,872,812	
財政力指数	0.36	
経常収支比率(%)	97.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.8
	将来負担比率(%)	60.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,141,574			
1 経常収益	1,131,992			
(1) 医業収益	896,845			
(うち修正医業収益)	851,077			
入院収益	570,697			
外来収益	240,194			
診療収入計	810,891			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	85,954			
(うち他会計負担金)	45,768			
(2) 医業外収益	235,147			
(うち国・都道府県補助金)	805			
(うち他会計補助・負担金)	183,062			
(うち長期前受金戻入)	40,129			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	9,582			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,311,222			
2 経常費用	1,311,222			
(1) 医業費用	1,243,015			
職員給与費	813,569	90.7	60.8	82.0
材料費	91,366	10.2	27.1	14.2
(うち薬品費)	47,409	5.3	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	43,549	4.9	11.8	6.1
減価償却費	74,131	8.3	8.6	12.5
経費	261,224	29.1	22.0	34.4
(うち委託料)	145,885	16.3	11.8	16.9
研究研修費	1,511			
資産減耗費	1,214			
(2) 医業外費用	68,207			
(うち支払利息)	3,423	0.4	0.9	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損益	-179,230			
純損益	-169,648			
累積欠損金	1,246,081			
経常収支比率	86.3		93.0	93.1
医業収支比率	72.2		83.9	69.6
修正医業収支比率	68.5		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	20.2		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	25.5		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	20.0		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	68.9		81.6	68.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	10,283,046
1 固定資産	8,790,094
(1) 有形固定資産	8,526,772
(2) 無形固定資産	1,288
(3) 投資その他の資産	262,034
2 流動資産	1,492,952
(1) 現金及び預金	588,078
(2) 未収金及び未収収益	875,574
(3) 貸倒引当金( )	10,703
(4) 貯蔵品	37,633
3 繰延資産	-
負債合計	10,150,771
1 固定負債	7,472,509
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,599,938
(2) その他の企業債	155,392
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	300,000
(5) 引当金	2,417,179
(6) リース債務	-
2 流動負債	1,494,163
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	503,450
(2) その他の企業債	15,370
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	295,132
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	200,000
(8) 未払金及び未払費用	379,126
(9) 前受金及び前受収益	93,103
3 繰延収益	1,184,099
(1) 長期前受金	3,791,843
(2) 長期前受金収益化累計額( )	2,607,744
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	132,275
1 資本金	16,623,537
2 剰余金	-16,491,262
(1) 資本剰余金	118,157
(2) 利益剰余金	-16,609,419
負債・資本合計	10,283,046
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	228,830	228,830
資本勘定繰入	34,620	62,630
計	263,450	291,460

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	270.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	栗原市				
病院名	栗原市立栗原中央病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	22,277 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	18	指定病院の状況	救臨 感 災 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	269	55.6	65.5	67.6
療養	15	-	-	-
結核	28	20.6	19.9	29.7
精神	-	-	-	-
感染症	1	-	-	-
計	313	49.6	58.0	60.7
平均在院日数(一般病床のみ)		15.9	17.7	17.8

設立団体の状況		
人口(人)	64,637	
決算規模(千円)	43,259,936	
標準財政規模(千円)	26,984,132	
財政力指数	0.32	
経常収支比率(%)	100.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.0
	将来負担比率(%)	29.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,486,101			
1 経常収益	5,486,062			
(1) 医業収益	4,622,688			
(うち修正医業収益)	4,413,944			
入院収益	3,146,495			
外来収益	1,092,277			
診療収入計	4,238,772			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	383,916			
(うち他会計負担金)	208,744			
(2) 医業外収益	863,374			
(うち国・都道府県補助金)	23,299			
(うち他会計補助・負担金)	603,003			
(うち長期前受金戻入)	88,337			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	39			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,519,093			
2 経常費用	6,514,645			
(1) 医業費用	6,180,873			
職員給与費	3,294,844	71.3	60.8	61.3
材料費	994,794	21.5	27.1	26.2
(うち薬品費)	287,631	6.2	14.8	14.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	707,163	15.3	11.8	11.2
減価償却費	444,272	9.6	8.6	8.5
経費	1,377,675	29.8	22.0	21.8
(うち委託料)	696,413	15.1	11.8	11.9
研究研修費	12,802			
資産減耗費	56,486			
(2) 医業外費用	333,772			
(うち支払利息)	74,868	1.6	0.9	0.9
(3) 特別損失	4,448			
経常損益	-1,028,583			
純損益	-1,032,992			
累積欠損金	7,835,586			
経常収支比率	84.2		93.0	92.2
医業収支比率	74.8		83.9	84.6
修正医業収支比率	71.4		81.0	81.8
他会計繰入金対経常収益比率	14.8		12.2	10.8
他会計繰入金対医業収益比率	17.6		14.3	12.4
他会計繰入金対総収益比率	14.8		12.3	10.7
実質収益対経常費用比率	71.8		81.6	82.3

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	12,199,705
1 固定資産	11,119,636
(1) 有形固定資産	11,104,180
(2) 無形固定資産	786
(3) 投資その他の資産	14,670
2 流動資産	1,080,069
(1) 現金及び預金	57,756
(2) 未収金及び未収収益	963,259
(3) 貸倒引当金( )	356
(4) 貯蔵品	59,410
3 繰延資産	-
負債合計	9,774,273
1 固定負債	7,353,837
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,240,448
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	1,000,000
(5) 引当金	-
(6) リース債務	113,389
2 流動負債	2,159,011
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	977,054
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	324,723
(6) リース債務	13,083
(7) 一時借入金	390,000
(8) 未払金及び未払費用	450,587
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	261,425
(1) 長期前受金	697,236
(2) 長期前受金収益化累計額( )	435,811
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	2,425,432
1 本金	13,742,207
2 剰余金	-11,316,775
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-11,316,775
負債・資本合計	12,199,705
不良債務	101,888
実質資金不足額	101,888
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	811,747	811,747
資本勘定繰入	373,999	373,999
計	1,185,746	1,185,746

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	101,888	1.7
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	185.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	101,888
地財法上の資金不足比率(%)	1.6

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

<b>病院事業決算状況(令和6年度)</b>				都道府県名 宮城県	
市町村・組合名	栗原市				
病院名	栗原市立若柳病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,581 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	6	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	45	69.3	68.9	59.6
療養	30	65.8	72.4	70.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	75	67.9	70.3	63.4
平均在院日数(一般病床のみ)		26.5	25.3	26.5

設立団体の状況	
人口(人)	64,637
決算規模(千円)	43,259,936
標準財政規模(千円)	26,984,132
財政力指数	0.32
経常収支比率(%)	100.8
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - 8.0 29.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,236,396			
1 経常収益	1,206,984			
(1) 医業収益	953,538			
(うち修正医業収益)	912,256			
入院収益	538,087			
外来収益	337,227			
診療収入計	875,314			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	78,224			
(うち他会計負担金)	41,282			
(2) 医業外収益	253,446			
(うち国・都道府県補助金)	519			
(うち他会計補助・負担金)	246,121			
(うち長期前受金戻入)	4,515			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	29,412			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,674,051			
2 経常費用	1,673,840			
(1) 医業費用	1,550,592			
職員給与費	899,466	94.3	60.8	82.0
材料費	88,549	9.3	27.1	14.2
(うち薬品費)	36,621	3.8	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	51,928	5.4	11.8	6.1
減価償却費	125,756	13.2	8.6	12.5
経費	367,627	38.6	22.0	34.4
(うち委託料)	202,062	21.2	11.8	16.9
研究研修費	2,137			
資産減耗費	67,057			
(2) 医業外費用	123,248			
(うち支払利息)	35,381	3.7	0.9	1.2
(3) 特別損失	211			
経常損益	-466,856			
純損益	-437,655			
累積欠損金	2,312,448			
経常収支比率	72.1		93.0	93.1
医業収支比率	61.5		83.9	69.6
修正医業収支比率	58.8		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	23.8		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	30.1		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	23.2		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	54.9		81.6	68.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	12,199,705
1 固定資産	11,119,636
(1) 有形固定資産	11,104,180
(2) 無形固定資産	786
(3) 投資その他の資産	14,670
2 流動資産	1,080,069
(1) 現金及び預金	57,756
(2) 未収金及び未収収益	963,259
(3) 貸倒引当金( )	356
(4) 貯蔵品	59,410
3 繰延資産	-
負債合計	9,774,273
1 固定負債	7,353,837
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,240,448
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	1,000,000
(5) 引当金	-
(6) リース債務	113,389
2 流動負債	2,159,011
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	977,054
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	324,723
(6) リース債務	13,083
(7) 一時借入金	390,000
(8) 未払金及び未払費用	450,587
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	261,425
(1) 長期前受金	697,236
(2) 長期前受金収益化累計額( )	435,811
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	2,425,432
1 本金	13,742,207
2 剰余金	-11,316,775
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-11,316,775
負債・資本合計	12,199,705
不良債務	101,888
実質資金不足額	101,888
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	287,403	287,403
資本勘定繰入	150,032	150,032
計	437,435	437,435

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	101,888	1.7
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	185.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	101,888
地財法上の資金不足比率(%)	1.6

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	栗原市				
病院名	栗原市立栗駒病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,954 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	20:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	45	90.0	90.2	92.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	45	90.0	90.2	92.2
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	64,637	
決算規模(千円)	43,259,936	
標準財政規模(千円)	26,984,132	
財政力指数	0.32	
経常収支比率(%)	100.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.0
	将来負担比率(%)	29.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	705,396			
1 経常収益	705,396			
(1) 医業収益	523,510			
(うち修正医業収益)	455,820			
入院収益	311,257			
外来収益	125,685			
診療収入計	436,942			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	86,568			
(うち他会計負担金)	67,690			
(2) 医業外収益	181,886			
(うち国・都道府県補助金)	367			
(うち他会計補助・負担金)	169,548			
(うち長期前受金戻入)	11,095			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	850,618			
2 経常費用	850,600			
(1) 医業費用	810,588			
職員給与費	488,692	93.3	60.8	92.5
材料費	52,411	10.0	27.1	14.2
(うち薬品費)	26,031	5.0	14.8	7.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	26,380	5.0	11.8	5.8
減価償却費	72,445	13.8	8.6	13.4
経費	195,804	37.4	22.0	47.6
(うち委託料)	105,832	20.2	11.8	23.6
研究研修費	721			
資産減耗費	515			
(2) 医業外費用	40,012			
(うち支払利息)	13,301	2.5	0.9	0.9
(3) 特別損失	18			
経常損益	-145,204			
純損益	-145,222			
累積欠損金	1,168,741			
経常収支比率	82.9		93.0	95.6
医業収支比率	64.6		83.9	59.3
修正医業収支比率	56.2		81.0	54.4
他会計繰入金対経常収益比率	33.6		12.2	36.9
他会計繰入金対医業収益比率	45.3		14.3	63.1
他会計繰入金対総収益比率	33.6		12.3	36.8
実質収益対経常費用比率	55.0		81.6	60.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	12,199,705
1 固定資産	11,119,636
(1) 有形固定資産	11,104,180
(2) 無形固定資産	786
(3) 投資その他の資産	14,670
2 流動資産	1,080,069
(1) 現金及び預金	57,756
(2) 未収金及び未収収益	963,259
(3) 貸倒引当金( )	356
(4) 貯蔵品	59,410
3 繰延資産	-
負債合計	9,774,273
1 固定負債	7,353,837
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,240,448
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	1,000,000
(5) 引当金	-
(6) リース債務	113,389
2 流動負債	2,159,011
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	977,054
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	324,723
(6) リース債務	13,083
(7) 一時借入金	390,000
(8) 未払金及び未払費用	450,587
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	261,425
(1) 長期前受金	697,236
(2) 長期前受金収益化累計額( )	435,811
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	2,425,432
1 本金	13,742,207
2 剰余金	-11,316,775
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-11,316,775
負債・資本合計	12,199,705
不良債務	101,888
実質資金不足額	101,888
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	237,238	237,238
資本勘定繰入	49,246	49,246
計	286,484	286,484

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	101,888	1.7
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	185.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	101,888
地財法上の資金不足比率(%)	1.6

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		宮城県	
市町村・組合名	大崎市		
病院名	大崎市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	50,178 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	43	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	494	79.8	81.2	80.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	47.5	48.1	58.4
計	500	79.4	80.8	79.9
平均在院日数(一般病床のみ)		9.3	9.4	9.9

設立団体の状況		
人口(人)	127,330	
決算規模(千円)	67,834,852	
標準財政規模(千円)	37,731,953	
財政力指数	0.49	
経常収支比率(%)	97.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.9
	将来負担比率(%)	79.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	24,562,113			
1 経常収益	24,402,938			
(1) 医業収益	22,611,646			
(うち修正医業収益)	21,905,376			
入院収益	12,950,560			
外来収益	8,252,167			
診療収入計	21,202,727			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	1,408,919			
(うち他会計負担金)	706,270			
(2) 医業外収益	1,791,292			
(うち国・都道府県補助金)	82,548			
(うち他会計補助・負担金)	806,318			
(うち長期前受金戻入)	567,998			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	159,175			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	26,301,746			
2 経常費用	25,475,506			
(1) 医業費用	24,075,478			
職員給与費	10,246,722	45.3	60.8	53.3
材料費	8,326,394	36.8	27.1	33.0
(うち薬品費)	4,857,042	21.5	14.8	18.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,469,352	15.3	11.8	14.1
減価償却費	1,359,789	6.0	8.6	7.4
経費	4,010,911	17.7	22.0	17.2
(うち委託料)	2,368,066	10.5	11.8	10.2
研究研修費	76,279			
資産減耗費	55,383			
(2) 医業外費用	1,400,028			
(うち支払利息)	137,901	0.6	0.9	0.7
(3) 特別損失	826,240			
経常損益	-1,072,568			
純損益	-1,739,633			
累積欠損金	335,729			
経常収支比率	95.8		93.0	94.3
医業収支比率	93.9		83.9	89.6
修正医業収支比率	91.0		81.0	87.6
他会計繰入金対経常収益比率	6.2		12.2	7.6
他会計繰入金対医業収益比率	6.7		14.3	8.5
他会計繰入金対総収益比率	6.2		12.3	7.6
実質収益対経常費用比率	89.9		81.6	87.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	30,561,729
1 固定資産	22,423,819
(1) 有形固定資産	20,936,147
(2) 無形固定資産	147,906
(3) 投資その他の資産	1,339,766
2 流動資産	8,137,910
(1) 現金及び預金	3,959,403
(2) 未収金及び未収収益	3,955,014
(3) 貸倒引当金( )	12,800
(4) 貯蔵品	236,292
3 繰延資産	-
負債合計	23,447,575
1 固定負債	13,836,413
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,936,391
(2) その他の企業債	11,046
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	626,053
2 流動負債	4,665,748
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,410,120
(2) その他の企業債	1,553
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	854,372
(6) リース債務	127,228
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,075,320
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,945,414
(1) 長期前受金	12,166,542
(2) 長期前受金収益化累計額( )	7,221,128
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	7,114,154
1 資本金	11,069,544
2 剰余金	-3,955,390
(1) 資本剰余金	116,938
(2) 利益剰余金	-4,072,328
負債・資本合計	30,561,729
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,512,588	1,512,588
資本勘定繰入	580,889	580,989
計	2,093,477	2,093,577

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	16.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	大崎市				
病院名	大崎市民病院鳴子温泉分院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,367 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	40	79.1	68.3	61.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	40	79.1	68.3	61.4
平均在院日数(一般病床のみ)		27.2	24.1	24.1

設立団体の状況		
人口(人)	127,330	
決算規模(千円)	67,834,852	
標準財政規模(千円)	37,731,953	
財政力指数	0.49	
経常収支比率(%)	97.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.9
	将来負担比率(%)	79.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	937,313			
1 経常収益	936,143			
(1) 医業収益	529,040			
(うち修正医業収益)	496,056			
入院収益	390,168			
外来収益	89,514			
診療収入計	479,682			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	49,358			
(うち他会計負担金)	32,984			
(2) 医業外収益	407,103			
(うち国・都道府県補助金)	228			
(うち他会計補助・負担金)	373,830			
(うち長期前受金戻入)	18,318			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,170			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	940,116			
2 経常費用	938,449			
(1) 医業費用	899,369			
職員給与費	514,303	97.2	60.8	92.5
材料費	30,946	5.8	27.1	14.2
(うち薬品費)	15,251	2.9	14.8	7.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	15,695	3.0	11.8	5.8
減価償却費	123,970	23.4	8.6	13.4
経費	228,881	43.3	22.0	47.6
(うち委託料)	132,725	25.1	11.8	23.6
研究研修費	651			
資産減耗費	618			
(2) 医業外費用	39,080			
(うち支払利息)	10,758	2.0	0.9	0.9
(3) 特別損失	1,667			
経常損益	-2,306			
純損益	-2,803			
累積欠損金	2,108,074			
経常収支比率	99.8		93.0	95.6
医業収支比率	58.8		83.9	59.3
修正医業収支比率	55.2		81.0	54.4
他会計繰入金対経常収益比率	43.5		12.2	36.9
他会計繰入金対医業収益比率	76.9		14.3	63.1
他会計繰入金対総収益比率	43.4		12.3	36.8
実質収益対経常費用比率	56.4		81.6	60.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	30,561,729
1 固定資産	22,423,819
(1) 有形固定資産	20,936,147
(2) 無形固定資産	147,906
(3) 投資その他の資産	1,339,766
2 流動資産	8,137,910
(1) 現金及び預金	3,959,403
(2) 未収金及び未収収益	3,955,014
(3) 貸倒引当金( )	12,800
(4) 貯蔵品	236,292
3 繰延資産	-
負債合計	23,447,575
1 固定負債	13,836,413
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,936,391
(2) その他の企業債	11,046
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	626,053
2 流動負債	4,665,748
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,410,120
(2) その他の企業債	1,553
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	854,372
(6) リース債務	127,228
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,075,320
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,945,414
(1) 長期前受金	12,166,542
(2) 長期前受金収益化累計額( )	7,221,128
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	7,114,154
1 本金	11,069,544
2 剰余金	-3,955,390
(1) 資本剰余金	116,938
(2) 利益剰余金	-4,072,328
負債・資本合計	30,561,729
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	406,814	406,814
資本勘定繰入	24,383	24,383
計	431,197	431,197

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	16.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	大崎市				
病院名	大崎市民病院岩出山分院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,496 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	4	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	40	85.5	85.0	87.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	40	85.5	85.0	87.4
平均在院日数(一般病床のみ)		25.3	17.3	19.2

設立団体の状況		
人口(人)	127,330	
決算規模(千円)	67,834,852	
標準財政規模(千円)	37,731,953	
財政力指数	0.49	
経常収支比率(%)	97.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.9
	将来負担比率(%)	79.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	825,826			
1 経常収益	822,729			
(1) 医業収益	637,827			
(うち修正医業収益)	601,252			
入院収益	432,088			
外来収益	137,786			
診療収入計	569,874			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	67,953			
(うち他会計負担金)	36,575			
(2) 医業外収益	184,902			
(うち国・都道府県補助金)	128			
(うち他会計補助・負担金)	131,284			
(うち長期前受金戻入)	33,528			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,097			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	891,564			
2 経常費用	890,672			
(1) 医業費用	863,914			
職員給与費	534,474	83.8	60.8	92.5
材料費	53,522	8.4	27.1	14.2
(うち薬品費)	24,501	3.8	14.8	7.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	29,021	4.5	11.8	5.8
減価償却費	46,407	7.3	8.6	13.4
経費	228,013	35.7	22.0	47.6
(うち委託料)	126,530	19.8	11.8	23.6
研究研修費	1,201			
資産減耗費	297			
(2) 医業外費用	26,758			
(うち支払利息)	2,452	0.4	0.9	0.9
(3) 特別損失	892			
経常損益	-67,943			
純損益	-65,738			
累積欠損金	692,967			
経常収支比率	92.4		93.0	95.6
医業収支比率	73.8		83.9	59.3
修正医業収支比率	69.6		81.0	54.4
他会計繰入金対経常収益比率	20.4		12.2	36.9
他会計繰入金対医業収益比率	26.3		14.3	63.1
他会計繰入金対総収益比率	20.3		12.3	36.8
実質収益対経常費用比率	73.5		81.6	60.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	30,561,729
1 固定資産	22,423,819
(1) 有形固定資産	20,936,147
(2) 無形固定資産	147,906
(3) 投資その他の資産	1,339,766
2 流動資産	8,137,910
(1) 現金及び預金	3,959,403
(2) 未収金及び未収収益	3,955,014
(3) 貸倒引当金( )	12,800
(4) 貯蔵品	236,292
3 繰延資産	-
負債合計	23,447,575
1 固定負債	13,836,413
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,936,391
(2) その他の企業債	11,046
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	626,053
2 流動負債	4,665,748
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,410,120
(2) その他の企業債	1,553
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	854,372
(6) リース債務	127,228
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,075,320
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,945,414
(1) 長期前受金	12,166,542
(2) 長期前受金収益化累計額( )	7,221,128
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	7,114,154
1 資本金	11,069,544
2 剰余金	-3,955,390
(1) 資本剰余金	116,938
(2) 利益剰余金	-4,072,328
負債・資本合計	30,561,729
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	167,859	167,859
資本勘定繰入	35,584	35,584
計	203,443	203,443

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	16.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和6年度)</b>		都道府県名	
		宮城県	
市町村・組合名	大崎市		
病院名	大崎市民病院鹿島台分院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	4,728 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	3	指定病院の状況	救 輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	40	86.0	76.5	76.6
療養	18	-	64.5	88.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	58	59.3	72.8	80.3
平均在院日数(一般病床のみ)		29.1	27.8	28.5

設立団体の状況		
人口(人)	127,330	
決算規模(千円)	67,834,852	
標準財政規模(千円)	37,731,953	
財政力指数	0.49	
経常収支比率(%)	97.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.9
	将来負担比率(%)	79.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,106,639			
1 経常収益	1,097,171			
(1) 医業収益	725,856			
(うち修正医業収益)	689,426			
入院収益	431,638			
外来収益	232,358			
診療収入計	663,996			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	61,860			
(うち他会計負担金)	36,430			
(2) 医業外収益	371,315			
(うち国・都道府県補助金)	4,172			
(うち他会計補助・負担金)	341,637			
(うち長期前受金戻入)	9,300			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	9,468			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,029,979			
2 経常費用	1,028,354			
(1) 医業費用	998,898			
職員給与費	588,329	81.1	60.8	82.0
材料費	69,207	9.5	27.1	14.2
(うち薬品費)	40,937	5.6	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	28,270	3.9	11.8	6.1
減価償却費	38,140	5.3	8.6	12.5
経費	300,272	41.4	22.0	34.4
(うち委託料)	156,652	21.6	11.8	16.9
研究研修費	800			
資産減耗費	2,150			
(2) 医業外費用	29,456			
(うち支払利息)	5,258	0.7	0.9	1.2
(3) 特別損失	1,625			
経常損益	68,817			
純損益	76,660			
累積欠損金	935,558			
経常収支比率	106.7		93.0	93.1
医業収支比率	72.7		83.9	69.6
修正医業収支比率	69.0		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	34.5		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	52.1		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	34.2		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	69.9		81.6	68.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	30,561,729
1 固定資産	22,423,819
(1) 有形固定資産	20,936,147
(2) 無形固定資産	147,906
(3) 投資その他の資産	1,339,766
2 流動資産	8,137,910
(1) 現金及び預金	3,959,403
(2) 未収金及び未収収益	3,955,014
(3) 貸倒引当金( )	12,800
(4) 貯蔵品	236,292
3 繰延資産	-
負債合計	23,447,575
1 固定負債	13,836,413
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,936,391
(2) その他の企業債	11,046
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	626,053
2 流動負債	4,665,748
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,410,120
(2) その他の企業債	1,553
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	854,372
(6) リース債務	127,228
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,075,320
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,945,414
(1) 長期前受金	12,166,542
(2) 長期前受金収益化累計額( )	7,221,128
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	7,114,154
1 本金	11,069,544
2 剰余金	-3,955,390
(1) 資本剰余金	116,938
(2) 利益剰余金	-4,072,328
負債・資本合計	30,561,729
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	378,067	378,067
資本勘定繰入	17,442	17,442
計	395,509	395,509

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	16.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	蔵王町				
病院名	蔵王町国民健康保険蔵王病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	1,871 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	1	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	20:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	10	47.8	41.9	49.4
療養	26	35.4	45.7	39.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	36	38.8	44.6	42.3
平均在院日数(一般病床のみ)		25.0	28.4	32.8

設立団体の状況		
人口(人)	11,418	
決算規模(千円)	8,041,813	
標準財政規模(千円)	4,410,535	
財政力指数	0.43	
経常収支比率(%)	96.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.7
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	467,198			
1 経常収益	467,198			
(1) 医業収益	173,246			
(うち修正医業収益)	123,925			
入院収益	70,389			
外来収益	42,043			
診療収入計	112,432			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	60,814			
(うち他会計負担金)	49,321			
(2) 医業外収益	293,952			
(うち国・都道府県補助金)	4,495			
(うち他会計補助・負担金)	287,830			
(うち長期前受金戻入)	1,141			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	453,028			
2 経常費用	452,438			
(1) 医業費用	438,724			
職員給与費	255,036	147.2	60.8	92.5
材料費	20,310	11.7	27.1	14.2
(うち薬品費)	2,060	1.2	14.8	7.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	14,127	8.2	11.8	5.8
減価償却費	18,275	10.5	8.6	13.4
経費	144,595	83.5	22.0	47.6
(うち委託料)	79,287	45.8	11.8	23.6
研究研修費	193			
資産減耗費	315			
(2) 医業外費用	13,714			
(うち支払利息)	340	0.2	0.9	0.9
(3) 特別損失	590			
損益	14,760			
純損益	14,170			
累積欠損金	332,864			
経常収支比率	103.3		93.0	95.6
医業収支比率	39.5		83.9	59.3
修正医業収支比率	28.2		81.0	54.4
他会計繰入金対経常収益比率	72.2		12.2	36.9
他会計繰入金対医業収益比率	194.6		14.3	63.1
他会計繰入金対総収益比率	72.2		12.3	36.8
実質収益対経常費用比率	28.7		81.6	60.3

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	314,370
1 固定資産	232,051
(1) 有形固定資産	231,740
(2) 無形固定資産	311
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	82,319
(1) 現金及び預金	52,919
(2) 未収金及び未収収益	28,572
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	828
3 繰延資産	-
負債合計	175,859
1 固定負債	86,552
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	42,920
(2) その他の企業債	4,560
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	39,072
2 流動負債	56,598
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,517
(2) その他の企業債	620
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	18,103
(6) リース債務	9,806
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	19,499
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	32,709
(1) 長期前受金	89,607
(2) 長期前受金収益化累計額( )	56,898
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	138,511
1 資本金	464,624
2 剰余金	-326,113
(1) 資本剰余金	6,751
(2) 利益剰余金	-332,864
負債・資本合計	314,370
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	168,404	337,151
資本勘定繰入	7,221	7,221
計	175,625	344,372

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	192.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	川崎町				
病院名	国民健康保険川崎病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,631 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	4	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	30	77.6	73.5	75.8
療養	28	82.2	84.8	87.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	58	79.8	79.0	81.4
平均在院日数(一般病床のみ)		25.0	22.3	25.1

設立団体の状況	
人口(人)	8,345
決算規模(千円)	5,322,813
標準財政規模(千円)	3,799,549
財政力指数	0.32
経常収支比率(%)	94.3
健全化判断比率	-
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	6.1
将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	877,380			
1 経常収益	875,852			
(1) 医業収益	602,461			
(うち修正医業収益)	543,910			
入院収益	350,863			
外来収益	154,153			
診療収入計	505,016			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	97,445			
(うち他会計負担金)	58,551			
(2) 医業外収益	273,391			
(うち国・都道府県補助金)	186			
(うち他会計補助・負担金)	248,907			
(うち長期前受金戻入)	14,113			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,528			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	893,525			
2 経常費用	893,251			
(1) 医業費用	860,635			
職員給与費	541,333	89.9	60.8	82.0
材料費	81,162	13.5	27.1	14.2
(うち薬品費)	39,146	6.5	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	29,427	4.9	11.8	6.1
減価償却費	36,355	6.0	8.6	12.5
経費	201,300	33.4	22.0	34.4
(うち委託料)	106,742	17.7	11.8	16.9
研究研修費	339			
資産減耗費	146			
(2) 医業外費用	32,616			
(うち支払利息)	2,192	0.4	0.9	1.2
(3) 特別損失	274			
経常損益	-17,399			
純損益	-16,145			
累積欠損金	1,266,237			
経常収支比率	98.1		93.0	93.1
医業収支比率	70.0		83.9	69.6
修正医業収支比率	63.2		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	35.1		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	51.0		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	35.0		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	63.6		81.6	68.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	956,821
1 固定資産	736,099
(1) 有形固定資産	735,628
(2) 無形固定資産	471
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	220,722
(1) 現金及び預金	130,557
(2) 未収金及び未収収益	83,125
(3) 貸倒引当金( )	1,449
(4) 貯蔵品	5,261
3 繰延資産	-
負債合計	447,800
1 固定負債	152,502
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	42,081
(2) その他の企業債	61,386
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	49,035
(6) リース債務	-
2 流動負債	123,147
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	23,385
(2) その他の企業債	4,666
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	35,790
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	55,431
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	172,151
(1) 長期前受金	532,949
(2) 長期前受金収益化累計額( )	360,798
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	509,021
1 資本金	1,694,946
2 剰余金	-1,185,925
(1) 資本剰余金	80,312
(2) 利益剰余金	-1,266,237
負債・資本合計	956,821
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	307,458	307,458
資本勘定繰入	42,542	42,542
計	350,000	350,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	210.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	丸森町				
病院名	丸森町国民健康保険丸森病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド I		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,360 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	55	39.7	57.6	60.2
療養	35	20.3	29.2	25.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	32.2	46.6	46.7
平均在院日数(一般病床のみ)		27.0	27.6	28.2

設立団体の状況		
人口(人)	12,262	
決算規模(千円)	12,869,345	
標準財政規模(千円)	5,521,509	
財政力指数	0.31	
経常収支比率(%)	93.5	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	1,005,164				
1 経常収益	1,005,164				
(1) 医業収益	655,930				
(うち修正医業収益)	545,343				
入院収益	289,077				
外来収益	198,990				
診療収入計	488,067				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	167,863				
(うち他会計負担金)	110,587				
(2) 医業外収益	349,234				
(うち国・都道府県補助金)	288				
(うち他会計補助・負担金)	323,883				
(うち長期前受金戻入)	13,986				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	1,265,052				
2 経常費用	1,262,785				
(1) 医業費用	1,109,787				
職員給与費	559,814	85.3	60.8	82.0	
材料費	64,422	9.8	27.1	14.2	
(うち薬品費)	23,901	3.6	14.8	7.3	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	39,475	6.0	11.8	6.1	
減価償却費	97,103	14.8	8.6	12.5	
経費	387,516	59.1	22.0	34.4	
(うち委託料)	210,584	32.1	11.8	16.9	
研究研修費	759				
資産減耗費	173				
(2) 医業外費用	152,998				
(うち支払利息)	11,197	1.7	0.9	1.2	
(3) 特別損失	2,267				
経常損益	-257,621				
純損益	-259,888				
累積欠損金	520,373				
経常収支比率	79.6		93.0	93.1	
医業収支比率	59.1		83.9	69.6	
修正医業収支比率	49.1		81.0	65.2	
他会計繰入金対経常収益比率	43.2		12.2	26.7	
他会計繰入金対医業収益比率	66.2		14.3	38.3	
他会計繰入金対総収益比率	43.2		12.3	26.8	
実質収益対経常費用比率	45.2		81.6	68.2	

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	2,557,612
1 固定資産	2,420,271
(1) 有形固定資産	2,420,209
(2) 無形固定資産	62
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	137,341
(1) 現金及び預金	42,304
(2) 未収金及び未収収益	89,768
(3) 貸倒引当金( )	700
(4) 貯蔵品	5,749
3 繰延資産	-
負債合計	1,730,787
1 固定負債	949,947
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	928,460
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	21,487
(6) リース債務	-
2 流動負債	233,520
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	127,191
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	40,944
(6) リース債務	1,759
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	60,286
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	547,320
(1) 長期前受金	1,015,446
(2) 長期前受金収益化累計額( )	468,126
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	826,825
1 資本金	1,347,198
2 剰余金	-520,373
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-520,373
負債・資本合計	2,557,612
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	293,770	434,470
資本勘定繰入	95,530	95,530
計	389,300	530,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	79.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	涌谷町				
病院名	涌谷町国民健康保険病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,569 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	12	指定病院の状況	救 臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	60	92.0	92.5	60.6
療養	39	85.7	84.2	75.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	89.5	89.2	65.8
平均在院日数(一般病床のみ)		20.4	19.6	20.0

設立団体の状況		
人口(人)	15,388	
決算規模(千円)	8,636,527	
標準財政規模(千円)	5,138,012	
財政力指数	0.38	
経常収支比率(%)	85.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.6
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,000,730			
1 経常収益	2,000,730			
(1) 医業収益	1,672,410			
(うち修正医業収益)	1,560,641			
入院収益	861,243			
外来収益	592,187			
診療収入計	1,453,430			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	218,980			
(うち他会計負担金)	111,769			
(2) 医業外収益	328,320			
(うち国・都道府県補助金)	15,922			
(うち他会計補助・負担金)	213,225			
(うち長期前受金戻入)	71,353			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,993,201			
2 経常費用	1,992,600			
(1) 医業費用	1,913,098			
職員給与費	1,092,172	65.3	60.8	82.0
材料費	386,726	23.1	27.1	14.2
(うち薬品費)	293,436	17.5	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	75,487	4.5	11.8	6.1
減価償却費	106,750	6.4	8.6	12.5
経費	321,995	19.3	22.0	34.4
(うち委託料)	154,390	9.2	11.8	16.9
研究研修費	2,268			
資産減耗費	3,187			
(2) 医業外費用	79,502			
(うち支払利息)	7,883	0.5	0.9	1.2
(3) 特別損失	601			
経常損益	8,130			
純損益	7,529			
累積欠損金	1,560,440			
経常収支比率	100.4		93.0	93.1
医業収支比率	87.4		83.9	69.6
修正医業収支比率	81.6		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	16.2		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	19.4		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	16.2		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	84.1		81.6	68.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,550,916
1 固定資産	1,146,029
(1) 有形固定資産	1,144,809
(2) 無形固定資産	1,220
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	404,887
(1) 現金及び預金	90,892
(2) 未収金及び未収収益	305,493
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	8,378
3 繰延資産	-
負債合計	1,610,326
1 固定負債	536,523
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	448,863
(2) その他の企業債	75,830
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	11,830
2 流動負債	585,683
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	86,938
(2) その他の企業債	8,559
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	55,906
(6) リース債務	6,591
(7) 一時借入金	340,000
(8) 未払金及び未払費用	87,689
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	488,120
(1) 長期前受金	1,099,394
(2) 長期前受金収益化累計額( )	611,274
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-59,410
1 本金	1,468,843
2 剰余金	-1,528,253
(1) 資本剰余金	32,187
(2) 利益剰余金	-1,560,440
負債・資本合計	1,550,916
不良債務	93,858
実質資金不足額	93,858
資本不足額( )	59,410
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	293,040	324,994
資本勘定繰入	52,165	52,165
計	345,205	377,159

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	93,858	5.6
令和5年度	101,955	5.9
令和4年度	146,870	9.2

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	93.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	145,205
地財法上の資金不足比率(%)	8.6

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	美里町				
病院名	美里町立南郷病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	2,899 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	50	65.1	61.6	69.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	65.1	61.6	69.1
平均在院日数(一般病床のみ)		42.4	46.7	50.3

設立団体の状況	
人口(人)	23,994
決算規模(千円)	15,372,921
標準財政規模(千円)	7,302,783
財政力指数	0.42
経常収支比率(%)	89.9
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - 7.9 46.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	688,471			
1 経常収益	687,988			
(1) 医業収益	465,253			
(うち修正医業収益)	428,959			
入院収益	251,522			
外来収益	129,896			
診療収入計	381,418			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	83,835			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	222,735			
(うち国・都道府県補助金)	420			
(うち他会計補助・負担金)	193,706			
(うち長期前受金戻入)	27,573			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	483			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	748,182			
2 経常費用	748,182			
(1) 医業費用	721,988			
職員給与費	433,609	93.2	60.8	82.0
材料費	73,645	15.8	27.1	14.2
(うち薬品費)	38,441	8.3	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	35,204	7.6	11.8	6.1
減価償却費	46,216	9.9	8.6	12.5
経費	164,769	35.4	22.0	34.4
(うち委託料)	82,828	17.8	11.8	16.9
研究研修費	253			
資産減耗費	3,496			
(2) 医業外費用	26,194			
(うち支払利息)	2,099	0.5	0.9	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損失	-60,194			
純損失	-59,711			
累積欠損金	538,165			
経常収支比率	92.0		93.0	93.1
医業収支比率	64.4		83.9	69.6
修正医業収支比率	59.4		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	33.4		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	49.4		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	33.4		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	61.2		81.6	68.2

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	861,720
1 固定資産	708,213
(1) 有形固定資産	708,213
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	153,507
(1) 現金及び預金	90,325
(2) 未収金及び未収収益	59,784
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	3,298
3 繰延資産	-
負債合計	485,065
1 固定負債	105,061
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	105,061
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	78,340
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	16,200
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	28,409
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	30,663
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	301,664
(1) 長期前受金	611,414
(2) 長期前受金収益化累計額( )	309,750
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	376,655
1 本金	914,820
2 剰余金	-538,165
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-538,165
負債・資本合計	861,720
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	230,000	230,000
資本勘定繰入	41,096	41,096
計	271,096	271,096

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	115.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和6年度)</b>		都道府県名 宮城県	
市町村・組合名	女川町		
病院名	女川町立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	6,430
決算規模(千円)	11,890,518
標準財政規模(千円)	3,909,358
財政力指数	0.93
経常収支比率(%)	89.0
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,987			
1 経常収益	1,987			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	1,987			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,987			
2 経常費用	1,987			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	82.0
材料費	-	-	27.1	14.2
(うち薬品費)	-	-	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	6.1
減価償却費	-	-	8.6	12.5
経費	-	-	22.0	34.4
(うち委託料)	-	-	11.8	16.9
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	1,987			
(うち支払利息)	1,987	-	0.9	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		93.0	93.1
医業収支比率	-		83.9	69.6
修正医業収支比率	-		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	100.0		81.6	68.2

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	南三陸町				
病院名	南三陸病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	8,554 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	10	指定病院の状況	救臨感輪		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	40	72.8	80.4	78.4
療養	50	81.7	84.7	81.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	77.8	82.8	79.9
平均在院日数(一般病床のみ)		22.3	22.4	22.9

設立団体の状況	
人口(人)	12,225
決算規模(千円)	11,583,595
標準財政規模(千円)	5,633,601
財政力指数	0.29
経常収支比率(%)	99.7
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - 10.8 -

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,677,977			
1 経常収益	1,677,932			
(1) 医業収益	1,241,037			
(うち修正医業収益)	1,191,037			
入院収益	670,720			
外来収益	475,923			
診療収入計	1,146,643			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	94,394			
(うち他会計負担金)	50,000			
(2) 医業外収益	436,895			
(うち国・都道府県補助金)	288			
(うち他会計補助・負担金)	290,000			
(うち長期前受金戻入)	139,598			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	45			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,889,806			
2 経常費用	1,885,286			
(1) 医業費用	1,826,405			
職員給与費	903,373	72.8	60.8	82.0
材料費	171,700	13.8	27.1	14.2
(うち薬品費)	61,760	5.0	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	108,431	8.7	11.8	6.1
減価償却費	183,904	14.8	8.6	12.5
経費	562,186	45.3	22.0	34.4
(うち委託料)	257,926	20.8	11.8	16.9
研究研修費	5,242			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	58,881			
(うち支払利息)	1,710	0.1	0.9	1.2
(3) 特別損失	4,520			
経常損益	-207,354			
純損益	-211,829			
累積欠損金	1,061,606			
経常収支比率	89.0		93.0	93.1
医業収支比率	67.9		83.9	69.6
修正医業収支比率	65.2		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	20.3		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	27.4		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	20.3		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	71.0		81.6	68.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	4,024,032
1 固定資産	3,617,852
(1) 有形固定資産	3,514,504
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	103,348
2 流動資産	406,180
(1) 現金及び預金	208,720
(2) 未収金及び未収収益	193,139
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	4,297
3 繰延資産	-
負債合計	4,105,299
1 固定負債	227,637
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	173,597
(2) その他の企業債	54,040
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	211,764
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	64,142
(2) その他の企業債	32,509
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	115,113
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,665,898
(1) 長期前受金	5,966,385
(2) 長期前受金収益化累計額( )	2,300,487
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-81,267
1 資本金	952,589
2 剰余金	-1,033,856
(1) 資本剰余金	27,750
(2) 利益剰余金	-1,061,606
負債・資本合計	4,024,032
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	81,267
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	340,000	340,000
資本勘定繰入	27,562	87,422
計	367,562	427,422

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	85.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		宮城県	
市町村・組合名	黒川地域行政事務組合		
病院名	公立黒川病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	10,029 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	17	指定病院の状況	救臨 へ
許可公営企業	許可	看護配置	10:1
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	110	71.9	67.6	63.1
療養	60	80.4	72.6	71.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	170	74.9	69.4	66.0
平均在院日数(一般病床のみ)		17.0	14.9	15.4

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	3,213,961	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	86.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	198,396			
1 経常収益	198,396			
(1) 医業収益	10,000			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	10,000			
(うち他会計負担金)	10,000			
(2) 医業外収益	188,396			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	150,826			
(うち長期前受金戻入)	22,354			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	351,233			
2 経常費用	332,347			
(1) 医業費用	315,481			
職員給与費	19,328	193.3	60.8	69.3
材料費	-	-	27.1	18.4
(うち薬品費)	-	-	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.1
減価償却費	148,933	1489.3	8.6	10.8
経費	145,049	1450.5	22.0	29.9
(うち委託料)	84,341	843.4	11.8	13.7
研究研修費	-			
資産減耗費	2,171			
(2) 医業外費用	16,866			
(うち支払利息)	16,866	168.7	0.9	1.0
(3) 特別損失	18,886			
損益	-133,951			
純損益	-152,837			
累積欠損金	4,738,212			
経常収支比率	59.7		93.0	91.6
医業収支比率	3.2		83.9	77.4
修正医業収支比率	-		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	81.1		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	1608.3		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	81.1		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	11.3		81.6	75.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	3,129,462
1 固定資産	3,053,392
(1) 有形固定資産	2,788,392
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	265,000
2 流動資産	76,070
(1) 現金及び預金	47,641
(2) 未収金及び未収収益	1,929
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	1,276,252
1 固定負債	527,465
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	242,827
(2) その他の企業債	200,714
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	64,286
(5) 引当金	19,638
(6) リース債務	-
2 流動負債	316,012
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	265,002
(2) その他の企業債	20,071
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	6,429
(5) 引当金	466
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	24,044
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	432,775
(1) 長期前受金	880,645
(2) 長期前受金収益化累計額( )	447,870
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,853,210
1 資本金	6,591,422
2 剰余金	-4,738,212
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-4,738,212
負債・資本合計	3,129,462
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	150,996	160,826
資本勘定繰入	180,704	283,102
計	331,700	443,928

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	47382.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	175,654
地財法上の資金不足比率(%)	1756.5

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和6年度)</b>		都道府県名	
		宮城県	
市町村・組合名	加美郡保健医療福祉行政事務組合		
病院名	公立加美病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	7,804 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	7	指定病院の状況	救 輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	40	70.2	69.5	65.1
療養	50	61.6	69.5	81.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	65.5	69.5	74.4
平均在院日数(一般病床のみ)		19.6	16.1	15.3

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	828,097	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	99.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,194,534			
1 経常収益	1,194,534			
(1) 医業収益	807,802			
(うち修正医業収益)	759,013			
入院収益	518,042			
外来収益	167,160			
診療収入計	685,202			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	122,600			
(うち他会計負担金)	48,789			
(2) 医業外収益	386,732			
(うち国・都道府県補助金)	438			
(うち他会計補助・負担金)	293,748			
(うち長期前受金戻入)	91,778			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,371,784			
2 経常費用	1,371,784			
(1) 医業費用	1,321,493			
職員給与費	793,186	98.2	60.8	82.0
材料費	97,773	12.1	27.1	14.2
(うち薬品費)	29,876	3.7	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	65,463	8.1	11.8	6.1
減価償却費	100,451	12.4	8.6	12.5
経費	329,036	40.7	22.0	34.4
(うち委託料)	172,911	21.4	11.8	16.9
研究研修費	842			
資産減耗費	205			
(2) 医業外費用	50,291			
(うち支払利息)	12,968	1.6	0.9	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損益	-177,250			
純損益	-177,250			
累積欠損金	2,046,155			
経常収支比率	87.1		93.0	93.1
医業収支比率	61.1		83.9	69.6
修正医業収支比率	57.4		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	28.7		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	42.4		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	28.7		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	62.1		81.6	68.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	1,654,757
1 固定資産	1,452,114
(1) 有形固定資産	1,451,675
(2) 無形固定資産	439
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	202,643
(1) 現金及び預金	85,437
(2) 未収金及び未収収益	108,748
(3) 貸倒引当金( )	2,339
(4) 貯蔵品	10,796
3 繰延資産	-
負債合計	2,024,683
1 固定負債	479,617
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	396,117
(2) その他の企業債	83,500
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	346,169
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	179,323
(2) その他の企業債	8,258
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	50,801
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	107,787
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,198,897
(1) 長期前受金	2,895,036
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,696,139
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-369,926
1 本金	1,580,733
2 剰余金	-1,950,659
(1) 資本剰余金	95,496
(2) 利益剰余金	-2,046,155
負債・資本合計	1,654,757
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	369,926
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	543,534	342,537
資本勘定繰入	105,294	174,108
計	648,828	516,645

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	253.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	47,703
地財法上の資金不足比率(%)	5.9

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名		みやぎ県南中核病院企業団			
病院名		みやぎ県南中核病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	26,364 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	32	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	306	78.2	81.3	74.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	310	77.2	80.7	74.5
平均在院日数(一般病床のみ)		11.2	10.4	10.2

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,857,864			
1 経常収益	10,857,659			
(1) 医業収益	10,217,842			
(うち修正医業収益)	9,645,884			
入院収益	6,195,193			
外来収益	3,201,180			
診療収入計	9,396,373			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	821,469			
(うち他会計負担金)	571,958			
(2) 医業外収益	639,817			
(うち国・都道府県補助金)	92,302			
(うち他会計補助・負担金)	228,153			
(うち長期前受金戻入)	205,054			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	205			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,411,111			
2 経常費用	12,386,005			
(1) 医業費用	11,702,705			
職員給与費	6,198,641	60.7	60.8	61.3
材料費	2,696,006	26.4	27.1	26.2
(うち薬品費)	1,456,817	14.3	14.8	14.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,167,384	11.4	11.8	11.2
減価償却費	641,077	6.3	8.6	8.5
経費	2,123,709	20.8	22.0	21.8
(うち委託料)	1,206,415	11.8	11.8	11.9
研究研修費	39,270			
資産減耗費	4,002			
(2) 医業外費用	683,300			
(うち支払利息)	107,531	1.1	0.9	0.9
(3) 特別損失	25,106			
損益	-1,528,346			
純損益	-1,553,247			
累積欠損金	17,091,219			
経常収支比率	87.7		93.0	92.2
医業収支比率	87.3		83.9	84.6
修正医業収支比率	82.4		81.0	81.8
他会計繰入金対経常収益比率	7.4		12.2	10.8
他会計繰入金対医業収益比率	7.8		14.3	12.4
他会計繰入金対総収益比率	7.4		12.3	10.7
実質収益対経常費用比率	81.2		81.6	82.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	9,616,269
1 固定資産	7,721,950
(1) 有形固定資産	7,662,118
(2) 無形固定資産	5,942
(3) 投資その他の資産	53,890
2 流動資産	1,894,319
(1) 現金及び預金	166,917
(2) 未収金及び未収収益	1,649,930
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	77,472
3 繰延資産	-
負債合計	9,697,577
1 固定負債	4,799,881
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,538,365
(2) その他の企業債	190,343
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	71,173
2 流動負債	3,401,808
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	908,109
(2) その他の企業債	19,931
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	312,994
(6) リース債務	55,344
(7) 一時借入金	1,100,000
(8) 未払金及び未払費用	1,005,430
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,495,888
(1) 長期前受金	2,883,174
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,387,286
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-81,308
1 資本金	16,928,493
2 剰余金	-17,009,801
(1) 資本剰余金	81,418
(2) 利益剰余金	-17,091,219
負債・資本合計	9,616,269
不良債務	599,380
実質資金不足額	599,380
資本不足額( )	81,308
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	885,298	800,111
資本勘定繰入	609,322	948,135
計	1,494,620	1,748,246

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	599,380	5.9
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	167.3
健全化法上の資金不足額(千円)	579,449
健全化法上の資金不足比率(%)	5.6
地財法上の資金不足額(千円)	789,723
地財法上の資金不足比率(%)	7.7

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。